令和５年度

事業報告書

社会福祉法人　宏仁会

令和５年度　事業報告　　目次

Ⅰ　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　事業の概要

１　組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　介護保険指定状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

Ⅲ　法人本部

１　財務管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

２　総務　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

Ⅳ　拠点別報告

１　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

２　平内拠点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

３　青森拠点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

４　浦安拠点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

※　巻末資料（年間行事、研修、委員会）　23

Ⅰ　総括

令和５年度は、新型コロナ感染症の５類移行に伴い、経済活動が活性化し、人流も活発化し、介護人材の採用は一層困難になっている。

当法人でも、新卒・中途採用者数は伸び悩み、職員の高齢化と退職も進んだことから介護人材の採用・定着は喫緊の課題となっている。これらの対応として年度途中から、特定技能外国人の受け入れを始めた。彼らは支援機関で基本的な日本語や技術指導を受けてはいるものの、改めて、介護技術を中心とした実技研修を実施している。本人たちの意欲が高いこと、指導職員も介護技術の振り返りを行う機会となり、どちらにも良い効果が出始めている。安定した就業につなげていきたいと考えている。

一方、ハローワークや紹介会社を介した中途採用者については、多様な経験を重ねているものの、介護技術の確実な習得と実践化につながるよう、採用後の研修プログラムの見直しが必要と考える。また、宏仁会の社会福祉事業をより持続的・安定的に運営していくための環境整備として、デジタル化への対応とネットワーク環境の強化に取り組んだ。介護ロボット等の導入や音声入力が可能な記録システムの導入により、客観的データに基づく介護サービスの提供と、職員間の情報共有が期待できる。次年度は引き続き、各種介護ロボット等の活用をすすめていくとともに、一層の組織体制の強化、福祉人材の育成・定着にも取り組んでいきたい。

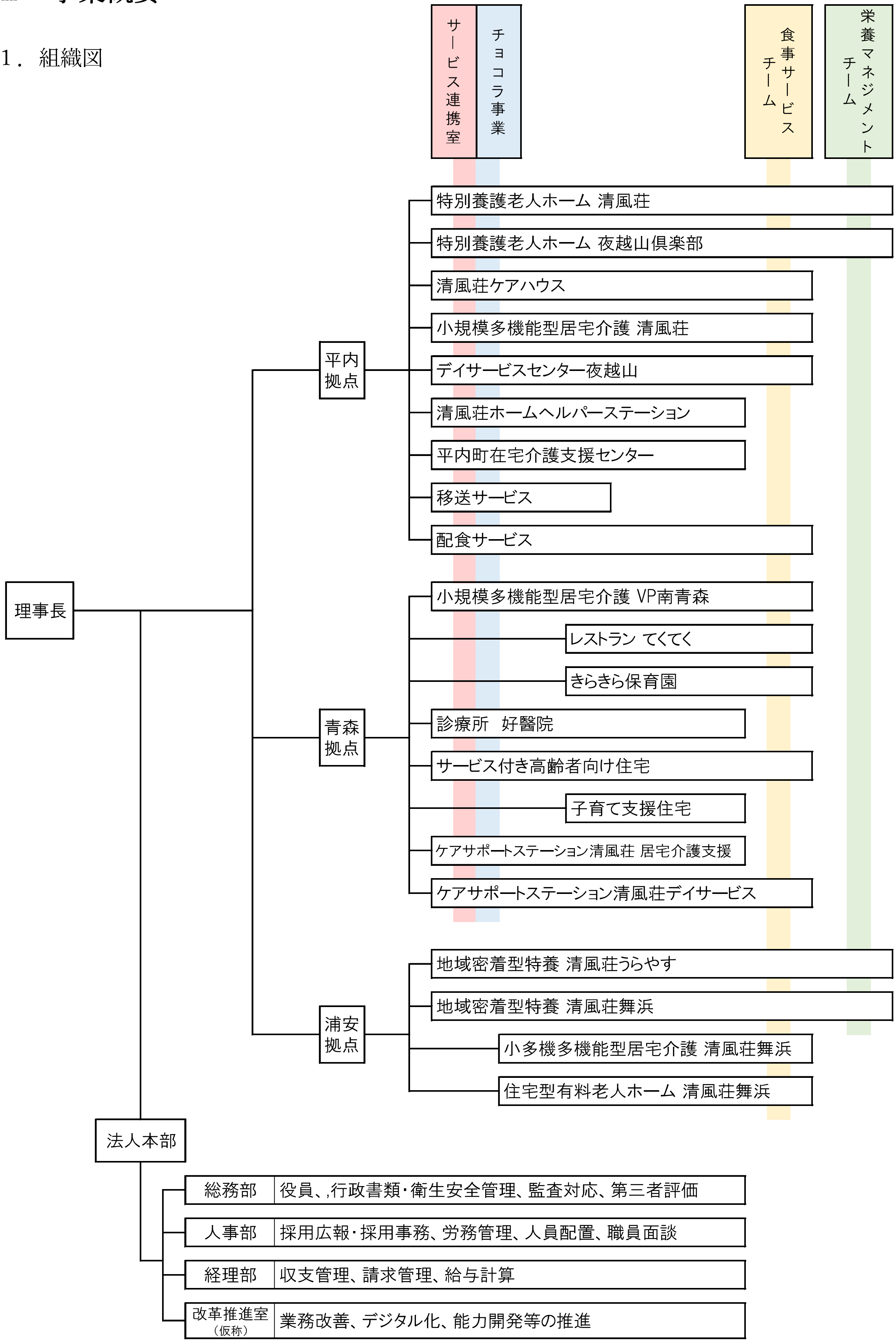
地域社会から宏仁会が期待される役割は大きく、平内地区を中心に、いわゆる「8050 問題」に代表されるような複合的な福祉課題をもつ世帯を対象に、重層的支援制度を利用し早急に福祉的支援につなげたケースもあった。

当法人も例外ではなく、地域実態を踏まえた新しい福祉ニーズや、多世代での交流促進や地域活動への積極的な参画にもチャレンジしていきたいと考えていたが、光熱水費や食材費を中心に、物価の高騰が見られるなど、社会福祉法人を取り巻く経営環境は厳しくなっている。介護・医療・保育の質を落とさないよう事業の安定的経営に努めた。外部環境の影響は次年度以降も続くことが予想されるため、先々の変化に対応できる情報把握に努め、変化に耐えうる事業体制を作りたい。

※　8050 問題…80 代の親が 50 代の子どもの生活を支えるために経済的にも精神的にも強い負担を請け負うという社会問題。 子どもが自立した生活を送れないため、80 代の親の年金を頼りに生活しているケースが多い。

Ⅱ　事業概要

1．組織図


サービス連携室
チョコラ事業
食事サービスチーム
栄養マネジメントチーム
理事長
平内拠点
特別養護老人ホーム 清風荘
特別養護老人ホーム 夜越山倶楽部
清風荘ケアハウス
小規模多機能型居宅介護 清風荘
デイサービスセンター夜越山
清風荘ホームヘルパーステーション
平内町在宅介護支援センター
移送サービス
配食サービス
青森拠点
小規模多機能型居宅介護 VP南青森
レストラン てくてく
きらきら保育園
診療所　好醫院
サービス付き高齢者向け住宅
子育て支援住宅
ケアサポートステーション清風荘 居宅介護支援
ケアサポートステーション清風荘デイサービス
浦安拠点
地域密着型特養 清風荘うらやす
地域密着型特養 清風荘舞浜
小多機多機能型居宅介護 清風荘舞浜
住宅型有料老人ホーム 清風荘舞浜
法人本部
総務部
役員､,行政書類･衛生安全管理､監査対応､第三者評価
人事部
採用広報･採用事務､労務管理､人員配置､職員面談
経理部
収支管理､請求管理､給与計算
改革推進室
（仮称）
業務改善､デジタル化､能力開発等の推進

２．介護保険指定状況

（1）特別養護老人ホーム　清風荘

①事業の種類	介護老人福祉施設　　定員５０人
	（予防）短期入所生活介護　　定員１０人
②開設年月日	昭和５８年４月１日
③介護保険指定番号	0272000100
④施設整備補助団体	日本自転車振興会

（2）平内町在宅介護支援センター

①事業の種類	居宅介護支援事業
②開設年月日	平成８年２月１日
③介護保険指定番号	0272000019
④施設整備補助団体	国庫補助

（3）清風荘訪問看護ステーション（休止中）

①事業の種類	（予防）訪問看護
②開設年月日	平成１１年１０月１５日
③介護保険指定番号(医療)	0262090004（平成１２年４月１日指定）

（4）清風荘ホームヘルパーステーション

①事業の種類	（予防）訪問介護・障害者自立支援
②開設年月日	平成８年７月１日
③介護保険指定番号	0272000126

（5）清風荘ケアハウス

①事業の種類	軽費老人ホーム（ケアハウス）　定員１５人
②開設年月日	平成１３年４月１日
③施設整備補助	国庫補助

（6）清風荘グループホーム（休止中）

①事業の種類	（予防）痴呆対応型共同生活介護　　定員９名
②開設年月日	平成１３年４月１日
③介護保険指定番号	0272000282
④施設整備補助団体	国庫補助

（7）清風荘ケアサポートセンター夜越山　　特別養護老人ホーム夜越山倶楽部

①事業の種類	ユニット型介護老人福祉施設　　定員３０人
	（予防）ユニット型短期入所生活介護　　定員１０人
②開設年月日	平成１９年４月１日
③介護保険指定番号	0272000431
④施設整備補助団体	国庫補助

（8）清風荘ケアサポートセンター夜越山　　デイサービスセンター夜越山

①事業の種類	（予防）通所介護　　　３５人
②開設年月日	平成１９年６月１日
③介護保険指定番号	0272000472
④施設整備補助団体	自己資金

（9）ケアサポートステーション清風荘（居宅介護支援事業）　　青森市

①事業の種類	居宅介護支援・（予防）訪問介護
②開設年月日	平成２０年３月１日
③介護保険指定番号	0270102981
④施設整備	自己資金

（１０）ケアサポートステーション清風荘　デイサービス（青森市）

①事業の種類	（予防）通所介護	１０人
	療養通所介護	２人
②開設年月日	平成２１年１２月１５日	
③介護保険指定番号	0270103328	
④施設整備補助団体	日本財団助成	

（１１）小規模多機能型居宅介護清風荘（平内町）

①事業の種類	（予防）小規模多機能型居宅介護
②開設年月日	平成２４年２月２８日
③介護保険指定番号	0292000098
④施設整備	自己資金

（１２）地域密着型特別養護老人ホーム清風荘うらやす（浦安市）

①事業の種類	ユニット型介護老人福祉施設	定員２９人
	（予防）短期入所生活介護	空所利用
②開設年月日	平成２４年１０月１７日	
③介護保険指定番号	1293200075　（短期入所　1273200996）	
④施設整備補助団体	浦安市	

（１３）ヴァンピュール南青森（青森市）

①事業の種類	好醫院
	きらきら保育園
	レストランてくてく
	サービス付き高齢者向け住宅
	子育て支援住宅
	暮らしのお手伝いサービス「CHOCORA」
②開設年月日	平成２６年３月２０日
③施設整備補助団体	国土交通省

（１４）小規模多機能型居宅介護ヴァンピュール南青森（青森市）

①事業の種類	（予防）小規模多機能型居宅介護
②開設年月日	平成３０年３月２０日
③介護保険指定番号	0290100437
④施設整備補助団体	青森市

（１５）地域密着型ケアサポートセンター清風荘舞浜（浦安市）地域密着型特別養護老人ホーム清風荘舞浜

①事業の種類	ユニット型介護老人福祉施設	定員２４人
②開設年月日	令和３年５月１日	
③介護保険指定番号	1293200224	
④施設整備補助団体	浦安市	

（１６）地域密着型ケアサポートセンター清風荘舞浜（浦安市）　小規模多機能型居宅介護清風荘舞浜

①事業の種類	（予防）小規模多機能型居宅介護
②開設年月日	令和３年５月１日
③介護保険指定番号	1293200232
④施設整備補助団体	浦安市

（１７）地域密着型ケアサポートセンター清風荘舞浜（浦安市）　住宅型有料老人ホーム清風荘舞浜

①事業の種類	住宅型有料老人ホーム	定員９人
②開設年月日	令和３年６月１日	
③施設整備	自己資金	

Ⅲ　法人本部

1. 財務管理

（1）総括

収入について各事業所の強み弱みが出る結果となった。平内拠点は二つの特養が微減収ではあるものの、目標の稼働率を達成し安定した運営ができた。加えてショートステイは新設したサービス連携室の働きかけ等により大幅な増収となった。また、昨年から課題であった在宅部門については収入を伸ばすことができず苦戦したが、その中でもデイサービス夜越山は稼働率アップにより増収となった。ただ、昨年３月の訪問看護ステーションの休止もあり、全体では減収となった。青森拠点はケアサポートステーション清風荘（居宅介護支援）と好醫院が増収となったが、きらきら保育園、小規模多機能型居宅介護ヴァンピュール南青森、サ高住が減収となった。12月にケアサポートステーション清風荘デイサービスが休止したこともあり、全体では減収となった。浦安拠点はケアサポートセンター清風荘舞浜（地域密着特養）が１ユニットの稼働にとどまったが、住宅型有料老人ホームが稼働、清風荘うらやす（地域密着型特養）の稼働率アップ等により全体では増収となった。昨年同様、在宅部門の強化が課題である。本来の事業収入は全体では減収となったが、有価証券の利金、配当金、時価評価益等が増収のため、事業活動収入は増収となった。

費用については、人件費が大幅に減額になった。これは定年退職等による正規職員の退職が大きく影響したが、その後、採用がうまく進まない結果となった。また、外国人採用による支援機関への管理費や支援費等の手数料や人材紹介会社への紹介料、広報費が増額となった。さらに、全介護保険事業所への ICT 導入費用が大きく増額したが、合理的業務へ転換するためには ICT 導入は必須であると考える（約２分の１は県からの補助金収入）。また、物価の高騰等により給食費が増額したが、同様に値上げが続いている消耗品等についても業者、メーカー等の見直し、使用方法や在庫管理の徹底により少しずつではあるが費用を抑えられている。人材確保とそれに代わる ICT 化、さらには現事業の継続が大きな課題と考える。

（2）直近３年間の経過

（単位：円）

	令和５年度	令和４年度	令和３年度
事業活動収入	1,110,320,706	1,075,864,347	1,048,278,041
事業活動支出	967,631,697	996,522,286	959,736,464
施設設備等収入	17,001,000	5,978,808	200,000
施設設備等支出	147,210,895	113,072,393	110,952,826
その他活動収入	322,409	858,507	86,677
その他活動支出	3,059,018	3,200,165	3,908,647
当期収支差額	9,742,505	△30,093,182	△26,033,219

２．総務

（１）理事会・評議員会などの実施状況

①理事会の開催

開催日	議案内容
第１回 令和５年６月１日	議案第１号　令和４年度事業報告書について 議案第２号　令和４年度決算書について 議案第３号　社会福祉法人宏仁会評議員の候補者（案）の推薦について 議案第４号　社会福祉法人宏仁会理事・監事の候補者（案）について 議案第５号　令和５年度定時評議員会の招集事項について このほか　報告事項　２件
第２回 令和５年６月25日	議案第　１　号　社会福祉法人宏仁会理事長並びに業務執行理事の選任について
第３回 令和５年９月１日 ※書面開催	議案第１号　　社会福祉法人宏仁会　職員就業規則並びに有期雇用職員就業規則一部改正（案）について
第４回 令和６年３月21日	議案第１号　令和５年度第１次資金収支補正予算書（案）について 議案第２号　令和６年度事業計画書（案）について 議案第３号　令和６年度資金収支予算書（案）について 議案第４号　社会福祉法人宏仁会経理規程一部改正（案）について 議案第５号　社会福祉法人宏仁会給与規程一部改正（案）について 議案第６号　社会福祉法人宏仁会職員就業規則並びに有期雇用職員就業規則一部改正（案）について このほか　報告事項　４件

②評議員会の開催

開催日	議案内容
第１回 令和５年６月25日	議案第１号　令和４年度事業報告書について 議案第２号　令和４年度決算書について 議案第３号　社会福祉法人宏仁会理事及び監事の選任（案）について このほか　報告事項　１件

③監事の監査の開催

開催日	出席者数	内容
令和５年５月30日	2	監査内容 令和４年度事業報告並びに決算について 法人運営（理事会等）について 社会福祉充実残額の計算結果について

③評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席者数	内容
令和５年６月８日	3	第１号議案　社会福祉法人宏仁会　評議員の選任（案）について

④役員等の状況

令和 5 年 3 月 31 日時点

種別	定数	人数
理事	6 名以上 7 名以内	6 名
監事	3 名以内	2 名
評議員	7 名以上 10 名以内	7 名
評議員選任・解任委員会	3 名	3 名

（2）コンプライアンスに基づく業務遂行

①職員の衛生管理

年 2 回の職員の健康診断、ストレスチェックを実施している。また、安全管理に関する研修は毎月実施した。

②労務管理

昨年度、労務管理ソフト（「オフィスステーション」㈱エフアンドエム）の運用により、職員の入退職における手続きが迅速化された。その一方で、書類の提出漏れや遅滞が発生することもあり、管理者会議において基本的ルールを再確認している。また、労務に関する法改正にあわせて、書類の様式やスケジュールの確認を行っている。

（3）実地指導

令和 5 年度は、法人本部、特別養護老人ホーム清風荘、清風荘ケアハウス、きらきら保育園で実地指導を受けた。加算の根拠資料や契約書類、各種記録の整備に努めており、返還を求められるような大きな指摘事項はなかったが、他法人からは実地指導での厳しい結果が聞かれており、引き続き、通知や条例改正に随時対応し、適切な運営管理に努めていきたい。

（4）職員の確保

①採用状況

採用は依然として厳しい状況であり、通年での採用活動に力を入れている。中途採用者については、キャリアの有無、年齢、就労形態などの条件が異なることから、定着へのサポートの手厚さがより一層重要であると実感している。

【新卒】

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
4 年制大学卒	2 名	2 名	7 名
短大・高専卒	0 名	1 名	0 名
高等学校卒	0 名	0 名	1 名
計	2 名	3 名	8 名
卒業校	弘前学院大学 青森大学	青森公立大学 柴田学園大学 国際学院埼玉短大	青森公立大学 青森大学 弘前医療福祉短大 淑徳大学 盛岡大学 女子栄養大学 青森高等養護学校

【中途採用】

採用媒体	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
ハローワーク	4 名	6 名	8 名
紹介会社	16 名	4 名	15 名
求人サイト	7 名	2 名	6 名
職員紹介	11 名	6 名	11 名
計	38 名	18 名	40 名

【入退職者数】

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
入職者数	40 名	21 名	48 名
退職者数	32 名	33 名	28 名

②入職希望者対象の説明会参加・開催状況

	法人主催 （Web セミナー）	外部主催への参加
新卒向け	5 月～3 月まで随時開催 6 名参加	・ 青森県立保健大学 説明会（対面） ・ 青森県オンライン説明会（オンライン） ・ 弘前大学合同説明会（対面） ・ 高校生向け就職説明会（対面） ・ 青森県ハローワーク就職説明会（対面） ・ 青森県就職ガイダンス（オンライン） ・ 新卒高校生オンライン説明会
中途者向け	—	・ 福祉のしごと説明会（青森県社協） ・ 合同説明会（青森 ハローワーク） ・ 介護のしごと相談会（浦安）

③インターンシップ

大学生	2 名	中央学院大学 3 年生(9/5)、弘前学院大学 2 年生（8/23～8/25）
高校生	1 名	青森商業高等学校 1 年生(9/5～9/7)

④特定技能外国人

今年度、浦安拠点で 8 人の外国人の受け入れを行った。インドネシア出身の 2 名は日本での介護経験があり、日本語レベルも高く即戦力となった。ミャンマー出身の 6 名は、支援機関による入国手続きや日本語講習などのサポートを受けての採用であり、介護が未経験のため、新卒採用者とほぼ同等の介護技術の基本ケアマニュアルからの指導を行った。また、指導と同時に日常生活のサポートも行っている。意欲が高く、技術習得のスピードも速いため、今後の活躍が期待される。

	令和5年度	出身国
技能実習生	―	―
特定技能外国人	8名	インドネシア（2名） ミャンマー（6名）

（5）人材育成

①指導面談の実施

正規職員に対し、6月と11月に指導面談を実施した（6月の対象者は95名、11月の対象者は92名）。目的は、「職員一人ひとりがその能力を十分に発揮できるようサポートすることとモチベーションの維持向上を図ること」としている。なお、個人目標を立てるのが難しいという声が聞かれていたため、前期の指導面談では、先に一次評価者（上司）から本人に対して事業所の重点目標と期待することを伝えた。その結果、役割認識が明確化され、双方のズレが少なくなり、課題が焦点化する面談となった。

②資格取得支援

今年度は、以下の資格と研修について、受講やスクーリングに係る費用の助成、オンライン受講のための環境設定、勤務調整などの支援を行った。

名称	人数	名称	人数
認知症介護基礎研修	23	実務者研修	2
ケアマネージャー更新研修	3	主任ケアマネ更新研修	1
認知症介護実践者研修	1	認知症介護実践リーダー研修	1
社会福祉主事	2	認定介護福祉士	1
ユニットリーダー研修	1	保育士キャリアアップ研修	5

助成総額（受講料、スクーリング費用）：1,239,462円

③研修について

・ 法人内研修（全体会議）

法人の運営方針を浸透させ、職員間の連携とサービスの質の向上を図るため毎月 1 回の全員参加による研修を実施した。

・ 法人外研修

関係機関や業界団体が主催する研修への参加推奨を随時行った。

・ 連携推進法人

統一研修（階層別研修）、次世代の経営人材研修会（全2回）、実践報告会（3月開催）について、それぞれ選出（自薦、推薦）を行い、参加した。

・ 特別研修

紙屋克子氏（筑波大学名誉教授）を招聘し、ナーシングバイオメカニクス技術を活用した身体介護技術の研修を2日間にわたって開催した。延べ96名の職員が参加し、スライディングシートやバランスボールを使用した介護技術の習得や、高齢者の身体構造、介護をする職員の負担軽減の考え方について理解を深めた。特養清風荘、特養夜越山倶楽部、清風荘うらやすでは、研修を踏まえた実践を行い、経過と成果について全体研修で実践報告を行った。

④実習受け入れ

学校名	人数	内容
東海大付属高等学校中等部	7名	職場体験
青森県立保健大学	2名	ソーシャルワーク実習Ⅱ

（6）職員の定着に向けて

①職員1人ひとりのワークライフバランスの充実と環境づくり

・ 産休・育休

今年度は、2名の職員が産前産後休暇と育児休暇を取得し、2名の職員が職場復帰をしている。例年、産前産後休暇、育児休暇を取得し職場復帰する職員の割合は100%となっており、時短勤務での復帰が多い。次年度にはパパ育休の取得者も予定されている。

・ 有給取得

今年度は、有給休暇取得をする割合が69.8%となり、比較的高い水準で取得できている。ただし、正規職員の取得率がやや低い傾向にある。引き続き、職員の確保に努めるとともに、休暇の取りやすい環境づくりに取り組んでいく。

・ 有休休暇の拡大について

子どものいる家庭において、新型コロナやインフルエンザなどの感染症による欠勤が長期化する傾向にあったため、「子の看護休暇」の有休化について検討した。次年度から実施する。

②職員の健康増進

特に若い職員の体力の維持を目的として、「置き型社食」の提供に取り組んだ。

③その他

育児休暇から復帰し、きらきら保育園を利用する職員について、お祝い金の支給、1歳までのミルク代とオムツの無料化を行った。

（7）生産性向上に向けた業務改善の推進

①アテンド職（介護補助）による「タスクシェア」の推進

介護現場において、アテンド職（介護補助）の存在が注目されており、当法人でも身体介護ができる介護福祉士等の有資格者との業務分担を進めてきた。特に浦安拠点ではシニア層のアテンド職が多く、食事の配膳・下膳、利用者への声掛けなどを担ってもらっている。アテンド職の存在が入居者の生活の潤いにも結びつき、またアテンド職自身のやりがいにもつながっている。一方で、平内拠点ではアテンド職の採用が進んでいない。おそらくその要因の一つとして通勤方法の問題があると考えられるため、今後、採用を進める上での検討課題としたい。

②デジタル化への対応

介護や保育の分野では、質の向上ならびに生産性向上を目的とした業務改善を進めることが業界全体で求められており、宏仁会でも記録などのデジタル化とロボットの本格的な導入を開始した。その際に必要となる知識として、「情報セキュリティ基礎研修」（講師：株式会社ソフトアカデミーあおもり 細川弘樹氏）を実施し、パソコン等デジタル機器の使用に関するデジタルリテラシーの向上を図った。

Ⅳ　各拠点別報告

１．総括

（１）　職員の負担軽減と介護の質の向上を目的としたICT機器の導入とデジタル化

青森県及び千葉県から補助を受け、以下のようにWi-Fiの整備、記録ソフトの入れ替え、見守り機器の導入を進めた。補助金の決定が遅く、実際の導入は年度末となったため、本格的な活用は次年度となる。

【青森県】

	総 額	総額内訳	
		補助金	法人負担
Wi-Fi整備（3事業所）	5,703,940円	―	5,703,940円
記録ソフト（10事業所）	16,016,110円	9,488,000円	6,528,110円
見守り機器（3事業所）　19台	3,898,950円	2,922,000円	976,950円
合計	25,619,000円	12,410,000円	13,209,000円

【千葉県】

	総 額	総額内訳	
		補助金	法人負担
Wi-Fi整備（2事業所）	3,300,000円	―	3,300,000円
記録ソフト（2事業所）	6,480,100円	2,188,000円	4,162,000円
見守り機器（2事業所）　11台	5,960,900円	1,974,000円	3,986,900円
合計	15,741,000円	4,162,000円	11,579,000円

（２）　感染症への対応

新型コロナ感染症が5類へ移行となったため、厚生労働省の方針を踏まえたうえで、改めて法人内の面会ルールと職員の健康観察について確認し、周知徹底を行った。

（３）　自然災害に関するBCP（業務継続計画）について

各施設において、BCP（業務継続計画）を作成した。次年度は、電気・ガス・水道・インターネット等が止まった際のシミュレーションを実施し、BCP の実効性と職員の理解を促進し、有効性を高めたい。

（４）　科学的介護情報システム（LIFE）の推進について

システムへのデータ入力を継続するとともに、今年度はフィードバックを確認し、自立支援と重度化防止に結びつける情報として、どのように生かしたらよいか検討した。次年度も、引き続き課題とする。

（５）　サービス管理について

理念である「人権尊重」を目指す過程において、より良いケア・保育への取り組みは常に行ってきたが、現在、「虐待防止」について社会の関心が高いことから、介護サービスにおいては、これまで同様、省令で定められている体制 4 項目（身体拘束廃止委員会、指針、研修、担当者）を整備し、各事業所で、「虐待の芽チェックリスト」を用いて自己評価を行った。委員会メンバーが中心となり分析した結果、職員間のコミュニケーション不足に課題を感じている職員が多

いことがわかり、各事業所において改善計画を立て、実践を行った。その上で、再度自己評価を実施し、成果を確認している。

保育サービスについても、「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」の活用を行った。不適切保育に結びつく要因を探したり、自身の言動を振り返ることの難しさに気づいたため、次年度は、事例学習などを取り入れ、理解を深めていきたい。

（6） 地域への情報発信と各関係機関との関係づくり

施設の入所待機者や居宅介護支援、各種在宅サービスの利用者数が減少傾向にあり、保育園も空きが常態化していることから、利用が可能なサービスやその特徴について情報発信を行うことを目指したが、パンフレットのリニューアル、各関係機関への訪問、定期連絡等、発信内容と方法についての工夫・取り組みが十分にできなかった。引き続き、次年度の課題としたい。

（7） 法人内の情報連携・調整

事業の多様化やサービス提供範囲の拡大により調整業務が複雑化していることから、対応の遅れや見落としを防ぐため、法人内に「サービス連携室」を設置し、各種サービスへの迅速なコーディネートを行った。特に、小規模多機能型居宅介護の泊まり、ショートステイ、特養入所について、ご利用者のニーズに即したサービスを迅速に結びつけることができた。

（8） 食事提供について

利用者、園児の満足度の向上を目指し、献立、調理方法の工夫、食材の吟味、行事食の充実に努めた。一方で、高騰する食材費への対応のため、浦安拠点において完全調理品の導入を行った。それに伴い、これまで行ってきた平内拠点からの調理品等の発送業務が削減され、食事サービスチームの業務の合理化にも繋がった。

2．平内拠点

（1）拠点総括

平内拠点では、昨年度に続き、施設サービスの運営はおおむね安定しているものの、施設サービスの利用を待つ間に、体調変化等により、入院や他施設に入所するケースが見られるなど、次の入所者が決まるまで日数を置くことも度々あった。また、在宅サービスでは、日常的に介護・福祉サービスとの接点が少ない独居もしくは高齢夫婦・高齢親子世帯で、急なサービス利用を必要とするケースもあった。自宅での生活継続を希望する声も多く聞かれるため、迅速に把握できる相談支援体制のあり方や事業所間の連携について強化を図りたい。

（2）稼働率実績

①施設サービス

	定員		令和5年度	令和4年度	令和3年度
特別養護老人ホーム清風荘	入所	50名	98.5%	97.2%	97.2%
	短期入所	10名	49.6%	24.9%	30.0%

特別養護老人ホーム 夜越山倶楽部	入所	30 名	100%	99.2%	100%
	短期入所	10 名	81.7%	78.5%	87.2%
ケアハウス	15 名		100%	100%	100%

②通所・訪問サービス

	定員	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
小規模多機能型居宅介護 清風荘	24 名	22.5 人/月	23.2 人/月	22.8 人/月
デイサービスセンター 夜越山	40 名	延べ 5,717 人 (22.2 人/日)	延べ 5.491 人 (21.9 人/日)	延べ 6,206 人 (24.0 人/日)
ヘルパーステーション	—	延べ 1,345 件	延べ 1,827 件	延べ 2,744 件

③相談サービス

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
平内町在宅介護支援センター ケアプラン作成件数	介護：延べ 550 件 予防：延べ 145 件	介護：延べ 790 件 予防：延べ 134 件	介護：延べ 986 件 予防：延べ 94 件

④平内町委託事業

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
配食サービス	2,903 食	4,703 食	4,369 食
高齢者実態把握事業	41 件	29 件	15 件
転倒予防教室	延べ 173 人	延べ 66 人	実施なし
運動指導事業	延べ 305 人	延べ 207 人	延べ 72 人

（3）特別養護老人ホーム（清風荘・夜越山倶楽部）

①個別ケア・尊厳あるケアの実現

両特養とも、入居者の平均要介護度は 4.0 前後となっている。重度の利用者が多いため、事故や体調変化を見落とすことが無いよう努めた。また、利用者の夜間の睡眠を妨げず、皮膚状態を良好に保つために排泄用品を見直した。この際に、利用者の生活リズムや排泄状況の再アセスメントを行っている。

②介護機器・ICT 機器の導入による業務改善の推進

見守り機器については、清風荘に 9 台（体動検出センサー7 台、離床センサー2 台）、夜越山倶楽部に 9 台（体動検出センサー7 台、離床センサー2 台）導入した。センサーの感度の調整や端末機の管理や持ち運び方法について検討を行い、本格活用へ向けての準備を進めた。

③医療機関との連携強化

家族や医師との連携のもと、清風荘では 14 件、夜越山倶楽部では 10 件の施設での看取り

を行った。容態変化にあわせて医師やご家族への連絡がスムーズに行うことができた。複合的な疾病をもつ入居者が多く、それぞれの医療ニーズに対応していくことも課題となっていることから、引き続き、家族と本人の意向を丁寧に確認し、情報連携に努めたい。

④リスクマネジメントの推進

事故発生時は、必要に応じて他事業所の管理者を交えた拡大カンファレンスを行い、客観的な原因分析と再発防止策の検討に努めた。改善すべき点としては、マニュアルの周知と理解、職員間の声がけ、職員のスキルで、利用者の身体状況の変化についての周知不足も課題としてあげられた。また、関連するヒヤリハット報告が少ない傾向が数年続いていることから、一人ひとりの発信力を高めていくとともに、再発防止のための情報共有を日常的に行いたい。

⑤OFF-JT 研修と OJT 研修が連動した人材育成

4 月より夜越山倶楽部に新卒者が配置され、講義、実技研修を経て 4 月後半から OJT 研修を行っている。個人の習熟に合わせた OJT と、リガーレグループ統一研修（階層別研修）を組み合わせ、1 年かけて基礎が身につくよう指導を行った。

（4）小規模多機能型居宅介護清風荘

①「その人らしさ」を重視した尊厳あるケアの実現

小規模多機能型居宅介護の特性を生かし、利用者の状態に合わせてサービスを組み替えながら、安定した日常生活の支援に努めた。青森市の医療機関から退院して平内町に戻る高齢者の相談や、同居家族の体調不良等により緊急の利用を地域包括支援センターから依頼されるケースもあった。

②地域との連携推進

運営推進会議を 6 回（すべて対面）開催した。地域の代表、行政、ご利用者家族、ご利用者本人に参加いただき、利用状況や行事などの実践報告とサービス評価を実施した。各回での意見交換では、事業所運営に様々な助言をいただいている。このほか、納涼祭や文化祭では、町内会や婦人会からも催し物への参加やボランティアに協力いただくことができた。また、利用者の急変や在宅生活でのトラブルの発生時には、近隣住民、町内会から連絡を受け、急遽対応したケースもあった。

③重度化や看取り期へ対応するケアの実践

利用者の平均介護度は 1.4 だったが、重度介護者の新規利用があり、身体的介護に関する技術および基本的な認知症ケアについて学び直すきっかけとなった。引き続き、中重度の要介護者のニーズがあることから、内部研修のみならず外部研修も活用し、丁寧なケア実践と技術向上を図っていきたい。

④職員のスキルアップ

勤続年数の長い職員が多く、安定したケアが提供できているが、職員個々が、認知症ケアに対する知識をアップデートし、自身のコミュニケーション技術を振り返る機会を増やす必要があった。次年度は、事例検討や他事業所との交換研修を行いたい。

（５）清風荘ケアハウス

①重度化に対する適切な対応

要支援から介護度２の高齢者が入居されているため、体調変化には特に留意し、体操や健康チェックなど毎日のルーティーンを確実に行った。変化があった際には、ケアマネージャーに繋ぎ、情報提供を行っている。

②入居者の社会参加促進

日々のプログラムとして、定期的に体操に取り組んでいるが、ケアハウス単独で地域交流の機会を確保することが難しいため、拠点内の特養や小規模多機能型居宅介護、デイサービスと連携し、行事の開催などを行った。次年度は、ケアハウス内でも入居者の状態に応じて提供できるプログラムの構成を再検討していきたい。

（６）清風荘ホームヘルパーステーション

①在宅生活を支えるケアの提供、②地域の関係機関・他事業所との情報共有

昨年度に続き、ケアハウスやサービス付き高齢者向け住宅（ヴァンピュール南青森）でのサービス提供が中心となった。各施設の相談員や居宅ケアマネージャーへの情報共有を欠かすことなくサービスの提供を行っている。残念ながら、新規獲得やサービスの追加にはつながらなかった。そのため、営業日・時間等の見直しが必要と考えている。

③職員のスキルアップ

昨年度に続き、基本的なケアの考え方や理念、虐待防止の研修を、法人共通の研修として受講している。一方、ホームヘルパーとして必要な視点（在宅生活援助のニーズの考え方、身体状況の管理、在宅でのケア技術、など）については、十分な研修機会の確保ができなかった。引き続き、関係団体等の外部研修を利用し、スキルアップに努めたい。

（７）デイサービスセンター夜越山

①重度化の予防

前年度に続き、ADL についてのアセスメントを定期的に実施し、LIFE への入力・送信を行った。ADL の低下や健康状態に変化が見られる利用者については、理学療法士、看護職員のアセスメント情報をケアマネへ報告し、プランの修正を行った。次年度は、介護報酬改定の中で、訪問・通所サービスにおいて、口腔ケア・栄養・リハビリテーションの総合的サービス提供と分析を重点実施することが求められているため、職員の理解・技術向上を図り、良い実践につなげていきたい。

②魅力あるアクティビティの実施

併設事業所（特別養護老人ホーム夜越山倶楽部）や同一圏域の事業所（小規模多機能型居宅介護清風荘）と合同で、納涼祭や文化祭などの行事を開催した。歳時記に応じた行事を通じて、利用者も普段と異なる様子を見せ、ご家族からも好評を得ている。次年度も引き続き、継続していきたい。

一方、利用者が定員に満たない状況が続いている。対応策として、退院後の機能回復やフレイル対策としてリハビリテーションメニューを充実させ、外出や創作など利用者が自身のサービスメニューを日ごとに選択するシステムを導入するなど工夫に努め、利用者の増加を目指したい。

（8）平内町在宅介護支援センター

①委託事業に関する連絡調整と実施

平内町から委託を受け、配食サービス、西平内地区での転倒予防教室、小湊地区での健康教室を実施した。特に転倒予防教室は、4 職種（介護支援専門員、管理栄養士、看護師、理学療法士）を組み合わせて 3 チーム制に編成し、フレイル予防に重点を置き、健康・社会参加・健康増進など幅広いテーマを取り扱った。参加者の意欲も高かった。また、参加者から近隣の高齢住民について相談を受けることもあり、住民が自分の地区へ関心を持つ機会に繋がっている。

実態把握調査については、コロナ禍が明け、徐々に訪問実績を戻すことができた。必要に応じて、行政や関係機関との情報共有につなぐことができたため、次年度も継続していきたい。

②ケアマネジメントの質の向上

定例で事業所会議、法人内の居宅介護支援事業所との合同申し送り、事例検討会を開催した。各自が抱えている困難事例についての情報交換を実施したほか、介護保険法改正に伴った記録のあり方、ケアマネージャーとしてのサービス事業所とのかかわり方等、知識を学び、ケアマネジメント力の向上に努めた。

③地域の関係機関、医療機関との連携

地域ケア会議に参加し、地域の医療機関、社会福祉協議会、地域包括支援センターとの情報共有を行った。また、平内町が主導する平内町在宅医療・介護連携システム「メルタス」へ参加している。今後、積極的な活用を進めたい。

3．青森拠点

（1）拠点総括

町内会などとの地域活動は再開できていないが、保育園やヴァンピュール入居者の交流行事は活発化した。地域活動は入居者にとって自己を表現する機会ともなっていることから、今後の活動をどのように展開していくかが課題である。

また、介護を必要としない入居者の近隣医療機関への受診が増えている。そのため、昨年度より、緊急搬送のケースを想定し、入居者の既往歴や家族の連絡先、緊急時の延命処置の希望について記載した「救急医療情報キット」を作成した。実際に使用する場面となったときに齟齬が出ないよう内容について適宜更新が必要となっているため、「救急措置の意思確認」については学習会を実施していきたい。また、契約時の確認事項の見直しも行いたい。

（2）稼働率実績

①介護保険サービス

	定員	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
小規模多機能型居宅介護 ヴァンピュール南青森	24 名	21.6 人/月	23.5 人/月	22.3 人/月
ケアサポートステーション 清風荘（デイサービス） ※令和 5 年 11 月末で休止	10 名	延べ 426 人 (4.1 人/日)	延べ 744 人 (5.0 人/日)	延べ 827 人 (5.3 人/日)

ケアサポートステーション清風荘（居宅介護支援）ケアプラン作成件数	—	延べ 1,079 件（予防なし）	介護:延べ 862 件 予防：延べ 32 件	介護:延べ 806 件 予防：延べ 11 件

②保育園

	定員	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
きらきら保育園（月保育）	19 名	10.0 人/月	10.5 人/月	11.5 人/月
きらきら保育園（一時保育）		12.6 人/月	1.6 人/月	2.7 人/月

③診療所

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
好醫院（保険診療）	延べ 2,252 件	延べ 2,128 件	延べ 1,436 件
好醫院（保険外診療）	延べ 1,039 件	延べ 1,207 件	延べ 1,937 件

※福利厚生として、職員のインフルエンザワクチンは全額補助

④居住サービス（ヴァンピュール南青森）

	戸数	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
サービス付き高齢者向け住宅	31 戸	96.4%	97.5%	98.2%
子育て支援住宅	25 戸			

⑤公益的取り組み

	令和 5 年度（R5.4～R6.3）	令和 4 年度（R4.8～R5.3）
暮らしのお手伝いサービス「CHOCORA」	延べ 220 件（18.3 件／月）	延べ 127 件（15.8 件／月）

オーダー内容：受診付添、ゴミ出し、雪かき、掃除など

（３）小規模多機能型居宅介護ヴァンピュール南青森

①「その人らしさ」を重視した尊厳あるケアの実現

日々の活動や法人内の行事など、できることを模索しながら、生活にメリハリを与え充実した生活が送れるようにと支援した。利用者の好みや生活歴を組みプログラムの提供に心掛けてきたが、状態変化のあるご利用者については随時職員間で情報共有を行いケアの見直しにつなげた一方、比較的状態が安定しているご利用者については状態把握やリスク管理の意識が低くなっていることが課題と考える。カンファレンスの開催も、職員が余裕をもって参加できるよう、十分な業務調整が行えていない。利用者へのケアを優先するあまり、本当に必要な支援か、特定の職員に偏っていないか、などの課題が残っている。今後はカンファレンス開催時期をケアプランの個別計画と連動させてスケジュール化し、次年度も引き続き、計画的に実施できるよう努めていく。

②地域との連携推進

運営推進会議を 6 回開催（対面 4 回、書面 2 回）した。運営推進会議では、各事業所での利用者の状況、行事等の開催状況を報告している。事業所周辺の町内会役員や民生委員、

町の福祉課職員が出席しており、会議の中で、事業所の運営について助言をいただいている。引き続き、顔の見える関係づくりに努め、地域との連携を深めていきたい。

③重度化や看取り期へ対応するケアの実践

重度介護者の新規利用や看取り対応があった。身体介護については状態変化に合わせて都度確認を行い、ご家族との意向も踏まえながら進めることができた。今後も確実にこのようなニーズがあることから、内部研修のみならず外部研修も活用し、引き続き、丁寧なケア実践と技術向上を図っていきたい。

④職員のスキルアップ

介護未経験者の採用も積極的に行ってきたが、指導者の不足、リーダーシップの不足が見受けられた。日々の申し送りやカンファレンスの中で、情報を共有し、経験の差を埋めていく工夫や、ケアの根拠を確認することでの知識の積み重ねていけるようにすることが必要だった。採用者が不安なく日々の課題を意識できるように次年度の課題としたい。

（4）ケアサポートステーション清風荘　デイサービス

同一圏域に機能強化型デイサービスセンターや小規模多機能型居宅介護事業所の進出が続いたこと、利用者の入院・死去に伴う稼働率の大幅な低下が続いていたことを踏まえ、総合的に状況を判断し、今年度途中で事業休止とした。

（5）ケアサポートステーション清風荘　居宅介護支援

①ケアマネジメントの質の向上

コロナを機に、研修の多くがオンライン形式となったため、外部研修も含め受講回数が増えた。医療機関や地域包括支援センターが主催する研修では、困難事例、ACP（アドバンスケアプラン）など高次元のテーマも多く、良い学びとなった。

②地域の関係機関、医療機関との連携強化

今年度は、近隣医療機関から、ガン末期や特定疾患などをもつ重介護、重医療を必要とする高齢者の紹介が多くあった。状態変化が起きやすいことから、地域の関係機関や医療機関との情報共有の頻度を増やし、プランへ反映した。

（6）きらきら保育園

①地域の子育て支援の拠点としての役割

「地域の中の保育園」という理念をもと、親子行事や園外活動を工夫した。例えば、ヴァンピュール南青森の入居者との合同行事を再開し、子どもたちが社会と関わる機会を作ることができた。また、今年度から見学に来た家族にアンケートを実施している（19 頁）。回答を見ると、第 1 子で初めての保育園利用を検討している家族、職場復帰を予定し保育園利用を検討している家族が多く、いずれも園児と保育士が近い環境の小規模保育園を探していることが伺えた。家族が相談しやすい雰囲気づくり努めたい。

②子どもの社会性・自立性をはぐくむ保育

園児の自主性に働きかけるため、1 日の遊びの中に「選択」することを取り入れている。自ら遊びの内容や絵本を選んだり、工作をする中で色や素材を選んだりすることをサポートした。

③食育の推進

併設のレストランからの食事・おやつの提供が、家族から好評を得ている。あわせて、保育者からのアイディアもあり、トマトをプランターで育てる体験をしたり、レストランの栄養士と交流を持つ機会を定期的に設けるなど、食育に取り組んでいる。今後も歳時記に合わせた食事や、郷土料理を取り入れた食事など、様々な方法に取り組んでいきたい。

④保育士のスキルアップ

今年度は、5名の保育士が「保育士キャリアアップ研修」を受講している。また、幼稚園や保育園での虐待事案が数多く報道されていることを受け、「子どもの尊厳を守る」「子どもの人権擁護」について研修を実施した。次年度も引き続き、法人内研修や関係団体の主催する研修を受講し、保育士一人ひとりの資質向上を図りたい。

⑤保護者へのソーシャルワーク（相談援助）

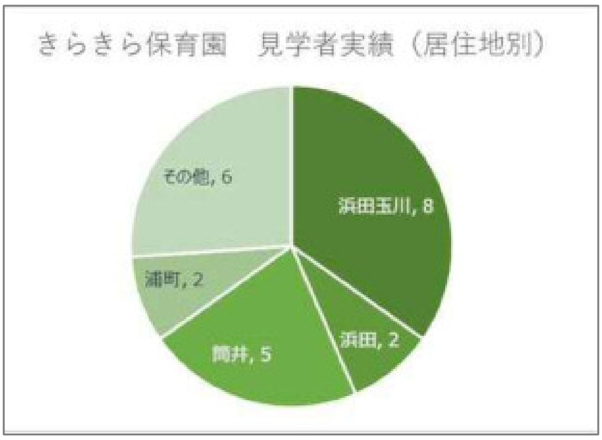
園児の発達について家族と話し合いを持ち、専門機関での診断に繋がったケースが複数あった。児童福祉法の改正で「こども家庭ソーシャルワーカー」が創設され、保育施設でのソーシャルワーク機能が一層求められている。地域の子どもも含め、子の養育に不安を持つ家庭や、養育環境が複雑な家庭に対して適切にサポートができるよう情報収集と関係機関との連携体制の構築に努めたい。

《きらきら保育園　見学者アンケートの結果》

◆見学者実績

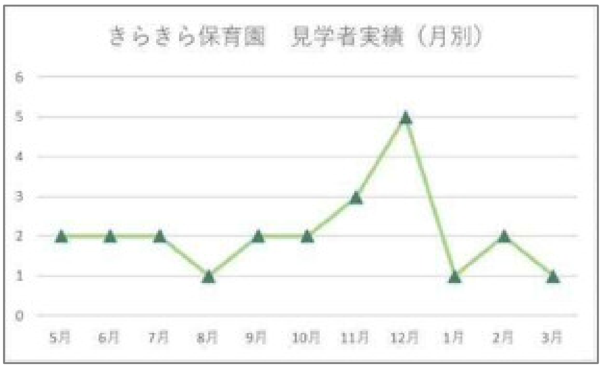
令和5年度中に、きらきら保育園に見学にきた家族は全部で23組だった。

居住地別にみると、「浜田玉川地区」が8組、「浜田地区」が2組、「筒井地区」が5組、「浦町地区」が2組、と、きらきら保育園の近隣に住む方々が見学に来ている。



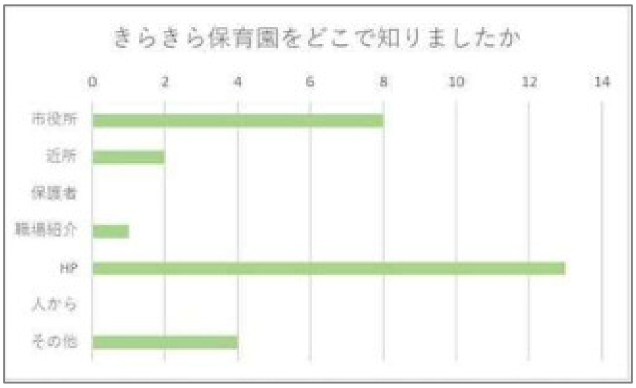
見学に来た時期を月別に集計すると、12月の見学者が最も多く5組、次いで11月の見学者が3組という結果だった

新入園児が最も多かったのは9月だったため、見学者のタイミングとは関係は見られていない。



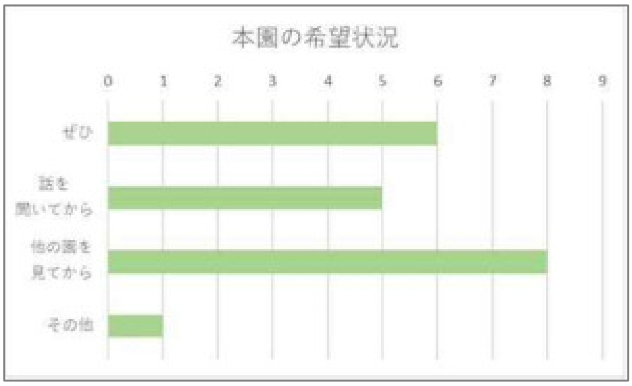
◆情報のルート

きらきら保育園についての情報収集のルートを調べると、最も多かったのは「ホームページ」13 組、次いで、「市役所の紹介」8 組となった。「その他」では、「家が近かったから」「以前、子どもが利用していた」という理由も挙げられた。



◆本園の希望状況

本園の希望状況を尋ねると、「他の園を見てから決めたい」とする回答が 8 件と最も多く、次いで「第一志望としているので、ぜひ入園させたい」とする回答が 6 件と多かった。



◆まとめ

令和 5 年度の新入園児が 8 名であったのに対し、見学者が 23 名と、見学者が入園に結びついていない実態が見えた。今後の見学者の増加のためには、ホームページの活用や市役所への情報提供、現在利用している園児家族を通じての広報活動も必要だと分かった。あわせて、見学に来た家族へのサンクスレターや追跡ヒアリングも検討したい。

（7）好醫院

①患者に寄り添った医療の提供

平内拠点の特養入居者においては、入院者が少なく、看取り件数が多いことが特徴としてあげられる。早期受診と早期治療が徹底され、また看取りにおける連携もできた。さらに、ヴァンピュール南青森の入居者の中には、体調不良で受診した際に軽度の脳梗塞が発見され、早期治療の結果、後遺症なく日常生活に復帰することができた人もおり、安心感に繋がった。

②職員の健康管理

昨年度に続き、平内拠点、青森拠点の職員健康診断を好醫院で実施している。あわせてインフルエンザなど予防接種も実施している。近年は、若い世代の体調不良やシニア層の職員も増えていることから、引き続き、好醫院の積極利用を進め、職員の健康管理に努めていく。

（8）サービス付き高齢者向け住宅・子育て支援住宅

①多世代交流・地域交流の実施

高齢の入居者が多いことから、昨年度に引き続き、交流行事の開催は限定して行った。歳

時記に応じた行事や文化祭など、比較的、広い空間での行事を優先して開催している。このほか、きらきら保育園で作成した園児の作品を、入居者がよく行き来するエレベーター前に展示し、入居者からは大変好評を得た。入居者がきらきら保育園の活動に目を向けるきっかけになった。また、前年度から、「ヴァンピュール学苑」として、大人世代の学びを提供する時間を定期的に開催している。入居者同士の交流促進になるほか、学びを通じて昔を振り返る機会にもなっており、脳トレになると好評である。次年度も引き続き開催するほか、学苑のカリキュラムの内容も見直しを図っていく。

②入居者に対する包括的サービスの情報提供

ヴァンピュール南青森は、「見守られ、緊急時対応がされることの安心感」と「社会性のある日常生活の実現」を目指しており、自身の病気の悪化や生活状況の変化をきっかけに入居してくる方が多い。そのため生活支援サービスや医療サービス（訪問リハビリ含む）、福祉支援制度の利用を検討している。状態変化に伴う要望に対応できるよう、ヴァンピュール南青森内での多職種連携を生かし対応している。

4．浦安拠点

（1）拠点総括

清風荘舞浜の早期の開所を目指し、人材確保を最優先に取り組んだ。その中で、法人で初めて特定技能外国人の採用を行った。受入準備から研修体制の構築、指導までおおむね順調に進み、年度末には特養清風荘舞浜の2ユニット目の開設ができる見通しが立った。

稼働率については、特に清風荘うらやすでは空床を最小限にすることができた。入居者の状態像としては、医療依存度が高く入居期間が短い傾向にあるが、定期的な関係機関への情報発信や働きかけが、入居者の確保に結びついた。常時往診ができる医療機関との協力体制が確立し、看取りまで安心して行えるようになり、ニーズに即したケアに取り組むことができた。

（2）稼働率実績

	定員	R5 年度	R4 年度	R3 年度
地域密着型特養 清風荘うらやす （空床利用短期入所含む）	29 名	99.1%	98.7%	98.0%
地域密着型特養 清風荘舞浜	24 名	48.9%	49.5%	42.7%
小規模多機能型居宅介護 清風荘舞浜	24 名	―	―	―
有料老人ホーム 清風荘舞浜	9 名	3 名	2 名	―

（3）地域密着型特別養護老人ホーム（清風荘うらやす・清風荘舞浜）

①個別ケア・尊厳あるケアの実現

入居者の平均要介護度が 4.3 と高く、意思疎通が十分にできない利用者も多い。そのような中で、尊厳あるケアが実現できるよう、ケーススタディや虐待防止研修で「尊厳とは何か」を学ぶなど、尊厳あるケアの実現に向けた職員の資質向上に努めた。

②介護機器・ICT の導入による業務改善の推進

見守り機器については、清風荘うらやすに 6 台（シルエットセンサー4 台、体動検出センサー2 台)、清風荘舞浜に 5 台（シルエットセンサー3 台、体動検出センサー2 台）を導入した。介護記録システムとの連動について調整を進めている。

③医療機関との連携強化

状態が不安定なご利用者が多いため、医療機関との連携のために、報告・相談の質とタイミングに留意し、日々の容態観察とケア記録の整理に努めた。

今年度は、清風荘うらやすで 7 件、清風荘舞浜で 2 件の看取りを行った。協力医療機関との連絡体制が確立しているため、スムーズに対応ができ、ご家族にも安心していただけた。

④リスクマネジメントの推進

ヒヤリハット報告が少ない中で事故が発生しており、リスクの把握や予測が課題だった。そのため、一人ひとりの気づきや発信力を高めるために、危険予測訓練の実施や勉強会を実施した。今後も、再発防止のための情報共有と対策を図っていきたい。

⑤OFF-JT 研修と OJT 研修が連動した人材育成

通年で採用を行っているため、その都度、教育研修を行ってきた。しかしながら、特養のケアは、身体介護、認知症ケア、看取りケア等、一つひとつの技術はもとより、ケアの理念や考え方理解も重要となり、より丁寧な指導が必要になる。今年度は紙屋先生の研修を受けて施設全体で実践を行うことができ、理論と実践を結び付けた取り組みができた。

■　年間行事一覧

平内拠点	○お花見　○つつじ見学　○端午の節句　○七夕まつり　○長寿まつり　○運動会 ○十五夜会　○勤労感謝の日　○誕生日会　○望年会　○新年福笑い ○節分会　○ひなまつり会　○百寿誕生会
青森拠点	○お花見ドライブ　○七夕会 ○お月見　○長寿を祝う会　○文化祭　○クリスマスコンサート ○望年会　○新春餅つき大会　○節分会　○吊るし雛飾り　○避難訓練
浦安拠点	○誕生会　○納涼祭　○長寿まつり　○運動会　○秋の味覚を味わう会 ○クリスマス会　○書初め大会　○節分　○ひな祭り

■　全体研修

開催日	名称	内容	場所
4月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　接遇について ②　福祉現場における議事録の書き方 ③　感染症対策について（感染症予防対策委員会）	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　レジリエンス（ストレス対策）	
5月19日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　高齢者・子どもの虐待防止（身体拘束廃止委員会） ②　緊急時の対応 ③　感染症対策について	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　正しい姿勢の保ち方	
6月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　ヒヤリハット活用法（事故防止対策委員会） ②　接遇について	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　熱中症について	
7月18日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　褥瘡予防（褥瘡予防対策委員会） ②　認知症ケアについて	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　血圧について	
8月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　防災について（防災委員会） ②　介護における ICT とは ③　軽度認知障害（MCI）について	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　交通事故の予防	
9月21日	衛生委員会	・　ストレスマネジメント	・各事業所
10月20日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　新型コロナウイルスについて（感染予防対策委員会） ②　倫理及び法令遵守について	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　腰痛予防	
11月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	①　「3秒ルール」実践報告（身体拘束廃止委員会） ②　医療的ケア～蜂窩織炎～	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・　転倒予防	

12月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	① ヒヤリハットの取り組みと活用法（事故防止対策委員会） ② 介護予防～フレイルの予防～	・夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす
	衛生委員会	・ ハラスメントの防止	
1月19日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	① 褥瘡について（褥瘡予防対策委員会） ② 精神的ケア～グリーフケア～	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・ 脳血管疾患の予防	
2月21日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	① 地震発生直後の対応について（防災委員会） ② ターミナルケアについて	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・ 胃腸を整える	
3月22日 10:00～11:30 14:00～15:30	全体研修	① ナーシング研修 実践報告 ② プライバシーの保護	・清風荘／夜越山 ・ヴァンビュール南青森 ・清風荘うらやす／舞浜
	衛生委員会	・ 眼精疲労について	

■　新採用者研修　（リ）…リガーレグループ統一研修

日時	内容	指導者 (ファシリテーター)
4月3日 9:00～17:30	【ケアマニュアル】 洗濯・清掃①（ケアマニュアル確認と物品確認、実践）	高木
	（リ）オリエンテーション	平川
	（リ）介護保険制度の方向性と理念	伊瀬谷(之)
	（リ）尊厳と倫理	伊瀬谷(千)
	【講義】キャリアパス・キャリアデザインについて	吉本
4月4日 8:30～17:30	【ケアマニュアル】洗濯・清掃　テスト	高木
	（リ）生活とは何か	山口(直)
	（リ）身体拘束／高齢者虐待	山口(直)
	（リ）個人情報とプライバシー	渡邉
	【ケアマニュアル】シーツ交換①	宮川
4月5日 8:30～17:30	【講義】経営方針（事業計画）	吉本
	（リ）介護の基礎Ⅰ　排泄に関する基本的な知識	平野
	（リ）高齢者の特性Ⅰ　身体的・心理的特徴	平川
	（リ）高齢者の特性Ⅱ　認知症基礎知識／感染症基礎知識	蝦名（千）
	【ケアマニュアル】シーツ交換②	宮川
4月6日 8:30～17:30	【OJT】掃除	宮川
	（リ）介護の基礎Ⅱ　基本的知識と技術／自然な身体の動き	三津谷（亜）
	（リ）介護の基礎Ⅲ　食事に関する基本的な知識	本間
	（リ）社会人としてのマナー	熊谷
	【ケアマニュアル】シーツ交換　テスト	今(直)

4月7日 8:30～17:00	【OJT】掃除	宮川
	（リ）まとめ	平川
	【ケアマニュアル】口腔ケア①	山口(亜)
	【ケアマニュアル】車椅子・リクライニング操作・移動	中村(匡)
4月10日 9:00～17:00	【ケアマニュアル】着脱①	山口(真)
	【ケアマニュアル】口腔ケア②　テスト	山口(亜)
	【ケアマニュアル】食事介助①	戸田
4月11日 9:00～17:00	ナーシングバイオメカニクス	倉内 三津谷(亜)
	【ケアマニュアル】移乗①	七尾(佑) 竹達
	【ケアマニュアル】トイレ介助①	向井
4月12日 9:00～17:00	【ケアマニュアル】着脱　テスト	山口(真)
	【ケアマニュアル】食事介助②　テスト	戸田
	【ケアマニュアル】移乗②　テスト	七尾(佑) 竹達
4月14日 9:00～15:00	【ケアマニュアル】オムツ交換①	笹原
	【ケアマニュアル】トイレ介助②　テスト	向井
	自己学習時間（復習）	伊瀬谷(之)
4月15日 9:00～17:00	【ケアマニュアル】特浴①	倉内 神(孝)
	【ケアマニュアル】中間浴①	
4月16日 9:00～17:00	【ケアマニュアル】中間浴②　テスト	倉内 神(孝)
	【ケアマニュアル】特浴②　テスト	
4月18日 9:00～17:00	面談	吉本・平川
	【講義・演習】生活支援とは～自立支援システム～	山口(直)
	防災訓練	福士(有) 伊瀬谷(之)
	【ケアマニュアル】オムツ交換②　テスト	笹原
4月21日 16:00～17:00	【講義】金銭管理について（給与明細の見方）	熊谷
4月25日 9:00～12:00	【講義・演習】苦情対応の基本	吉本
	【講義・演習】介護記録の基本	山口(梨)
5月2日 9:00～12:00	【講義・演習】介護の基礎50（復習会）	平川
5月9日 9:00～10:00	【講義・演習】リスクマネジメント	伊瀬谷（千）
5月16日 9:00～12:00	【講義・演習】尊厳と倫理2	工藤（の） 川越
5月30日 9:00～12:00	【講義・演習】看取りケアについて	工藤(の) 工藤(真)

■　合同委員会一覧

	頻度	参加事業所
感染症予防対策委員会	2か月に1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘うらやす・清風荘舞浜、ケアハウス、小多機清風荘、小多機ヴァンピュール南青森、居宅介護支援(青森)、デイサービスセンター夜越山、ケアサポートステーション清風荘デイサービス、ヘルパーステーション
事故防止対策委員会	2か月に1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘うらやす・清風荘舞浜、ケアハウス、小多機清風荘、小多機ヴァンピュール南青森
身体拘束廃止委員会（虐待防止）	2か月に1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘うらやす・清風荘舞浜、ケアハウス、小多機清風荘、小多機ヴァンピュール南青森、居宅介護支援(青森)、デイサービスセンター夜越山
褥瘡対策委員会	2か月に1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘うらやす・清風荘舞浜、ケアハウス、小多機清風荘、小多機ヴァンピュール南青森
防災委員会	毎月1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘うらやす・清風荘舞浜、ケアハウス、小多機清風荘、小多機ヴァンピュール南青森、居宅介護支援(青森)、デイサービスセンター夜越山、ケアサポートステーション清風荘デイサービス、ヘルパーステーション、保育園
指導者勉強会	毎月1回	特養清風荘、特養夜越山倶楽部、地域密着型特養清風荘舞浜